

平成 29 年度
市民協働事業提案

公開プレゼンテーション

日時 平成29年4月25日 13:30～15:40

場所 中央市民サービスセンター 洋室4

- 13:35 おむすびごろりん（自由提案）
～おむすびを介した人と地域の結びつきと居場所の創生事業～
NPO 法人新屋参画屋・・・P1
- 13:55 子どもの安全基地づくり事業（課題解決提案）
(特非)あきた子どもネット・・・P1
- 14:15 エイジフレンドリーおでかけサポート事業（自由提案）
NPO 法人秋田たすけあいネットあゆむ・・・P2
- 14:45 アート公民館うちのあかり（自由提案）
ソーシャルインクルージョンを指向した表現の場の創出
NPO 法人アートリンクうちのあかり・・・P2
- 15:05 宝だっあきた！（自由提案）
～あなたの町内会を盛り上げたい～
ソレイユ秋田・・・P3
- 15:25 子どもいきいき応援事業(課題解決提案)
秋田県教育協会・・・P3

おむすびごろりん（自由提案）

～おむすびを介した人と地域の結びつきと居場所の創生事業～

NPO 法人新屋参画屋

事業目的

安心安全な秋田米の“おむすび”提供の場を介し、児童、高齢者の地域社会参加の機会を設けることで、学びや心身の健康の格差解消を目指す居場所づくりのシステムをつくる。

事業内容

米作りのレクチャー（農産物と土や水とのつながりについて）・アグリツーリズム体験を年2回実施する外、秋田町家でおむすびをたべながら学び、あそび、社会参加するイベント「おむすびごろりん」を年8回開催する。

市の役割

情報収集と事業への参加促進。関係機関との折衝。健康体操のレクチャー、児童や高齢者の簡易な健康状態チェックの仕方、注意すべき点の指導、などの専門的な助言。

申請予定額

600,000円

アピールポイント

地域住民への交渉、説明をスムーズに行い理解を得ることができる。大学生との協力関係が構築できる。秋田町家の特徴を強く残す「渡邊幸四郎邸」を会場にし、貴重な秋田の資源を幅広い世代に体感してもらえる。

子どもの安全基地づくり事業（課題解決提案）

（特非）あきた子どもネット

事業目的

定期的に社会的な関わり合いの場を提供することによって、子どもたちの孤立を予防し、将来的な生活困窮の回避につなげていく。

事業内容

秋田駅周辺で週2回（月7～8回）主に生活困窮世帯の小中高生を対象に、放課後の第3の居場所としてサロンスペースを開室。フードバンク事業者と連携し子どもたちへの食料を常備。スタッフを配置し学習サポートを行う体制を整える。

市の役割

対象者と関わりのある市役所関係部局から窓口対応または資料郵送等によって広報活動を行い接点をつくる。対象者とつながりがある秋田県の公的機関や民間機関に市役所から折衝し連携をとる。

申請予定額

600,000円

アピールポイント

県内外の多様な団体とネットワークを有しており、他自治体の優れた取り組みの取り入れや連携を図れる。子ども支援に関する組織と全国的な範囲でつながりを持ち情報が得られやすい環境にある。

エイジフレンドリーおでかけサポート事業（自由提案）

NPO 法人秋田たすけあいネットあゆむ

事業目的

運転免許を返納しても高齢者が安心して暮らすことができるよう、移動を伴う生活支援サービスの充実を図り、高齢者の社会参加を促進してエイジフレンドリーシティの実現を目指す。

事業内容

低所得でタクシー代金が捻出できない人、バス停や駅が遠く、公共交通機関を使用するのが困難な人などを対象に、運転代行業者の車両を借りて、買い物支援、外出時の付添などのおでかけをサポートする。

市の役割

利用対象者、市民への広報。高齢化社会を支える活動として様々な情報提供、情報交換。

申請予定額

1,000,000円

アピールポイント

バスやデマンド交通だけでは対応できない交通弱者の移動支援として提案するもの。代行業者から車両使用、安全管理等の協力が得られる。

アート公民館うちのあかり（自由提案）

ソーシャルインクルージョンを指向した表現の場の創出

NPO 法人アートリンクうちのあかり

事業目的

生きづらさを抱えた様々な人(障がいのある人を軸に)が、アートとして自分を表現する場を創出する。また、その活動を社会に開いていく機会の充実を図る。そのことによって、福祉分野と芸術分野を架橋し、多様性と寛容性のあるまちづくりに寄与する。

事業内容

アート活動を行う拠点施設の基盤整備。月1回、第1土曜日に利用者、学生などみんなが集まってアート活動を楽しむ日を設ける。利用者に合わせた活動日や活動頻度を検討し、スタッフと摺り合わせを行い、個々の利用者に合わせた活動を行う。

市の役割

秋田市の福祉・文化のかたちを育てるパートナーとして専門的な助言や情報提供、情報交換を行う。市の計画にある芸術祭に連動させ障がいのある方の魅力的な表現を住民で分かち合える気運を醸成する。フライヤーの設置、本庁舎で事業を紹介。秋田市在住の障がいのある方で、アートに取り組んでいるあるいは興味がある方とのつながりづくり。

申請予定額

650,000円

アピールポイント

秋田公立美術大学の学生サークル「つちのあかりプロジェクト」の学生が事業に参加することで、基本的人権や福祉に対する理解を深める教育効果が期待できる。将来的に障がいのある人などのアート活動を支援する人材の育成を図る。すでに利用が見込まれる人が10名程度いる。

宝だっあきた！（自由提案）

～あなたの町内会を盛り上げたい～

ソレイユ秋田

事業目的

町内会イベントの企画・運営をサポートすることにより、高齢化した町内会で停滞している世代間交流の推進を図る。

事業内容

市内町内会に赴き、既存の祭りの問題点を聞き取り、その町内会が活性化する方法を一緒に考案、サポートする。具体的には各町内・近隣町内から、いわばご当地タレント発掘のような事業を展開しそのお手伝い、サポートをする。（年 3～5 回、夏・秋・冬祭り実施）

市の役割

町内会との話し合いの場へ同席し協力する。イベントを実施する際の広報活動支援。

申請予定額

834,000 円

アピールポイント

当団体は、パーソナルカラーアドバイザー、子育て支援員、IT カウンセラー、動画製作、飲食店経営など様々な能力を有するメンバーで構成され、それぞれの能力を活かしながらイベントの企画・運営ができる。

子どもいきいき応援事業（課題解決提案）

秋田県教育協会

事業目的

経済的な事情により学びたくても学べない子どもたちの学習を支援することにより、負の連鎖を断ち、子どもたちに将来への夢と希望をもたせることを目指す。

事業内容

経済的理由により学習が疎かになりがちな子どもたちを対象にした無料の学習塾の開催（夏期・冬期・春期の休業中に週 3 日程度）、子育て電話相談（保護者へ子育て等に関する電話相談）

市の役割

学習支援教室開設会場用として市の施設を無償提供。類似団体の活動と重ならないよう情報提供。子どもの学習について困っている家庭に電話相談事業を紹介。事業内容について市民へ広報。

申請予定額

428,000 円

アピールポイント

当会は退職教職員で構成され、会員はカウンセラー資格取得者や退職校長等の管理職経験者が多くを占めており、児童・生徒への教科指導や保護者への相談など適切に対応できるノウハウを持っている。また、秋田市校長会等とも秋田市教育の諸課題に連携し取り組んでいる。